

防災力の向上を目指し講演会を開催 ～ 2019年の風水害を振り返る～

県内の防災関係機関を対象に、静岡大学防災総合センターの牛山素行教授をお招きして防災に関する講演会を開催します。

昨年も全国各地で風水害が発生していますが、県内においても台風19号により沿岸を中心に大きな被害をもたらされました。そこで、防災業務に携わる国、県、市町村の防災担当者を対象に、近年の激甚化する災害に対して地域防災力の向上を目的とした講演会を開催します。

開催日時・場所

日時：令和2年2月10日(月)15:00～16:00

場所：マリオス18階（盛岡市盛岡駅西通2-9-1）

講演会の内容

講演『2019年の風水害をふりかえって（仮）』

（静岡大学 防災総合センター 教授 牛山素行）

対象

国、県、市町村の防災担当者（一般の方の聴講も可能（無料））

牛山素行教授：静岡大学 防災総合センター 副センター長
豪雨災害・津波災害を中心とする自然災害科学と、災害情報学を研究
（研究活動記録ブログ「豪雨災害と防災情報を研究するdisaster-i.net別館」より）

<発表記者會：東北専門記者會、岩手県政記者クラブ>

【問い合わせ先】

国土交通省 岩手河川国道事務所

TEL：019-624-3131

事業対策官 飯田 学（内線206）
いいだ まなぶ

昨年度の様子

昨年度の講演では、平成30年7月豪雨を中心とした2018年の風水害についてご講演いただきました。

牛山教授の研究室で収集したデータを基に、被害の発生した原因や時間帯等を分析、さらに近年の災害の傾向と比較する事で、防災担当者に非常に参考となる内容の講演でした。



公演後には牛山教授から助言をいただきながら、参加者による意見交換も実施しています。

